

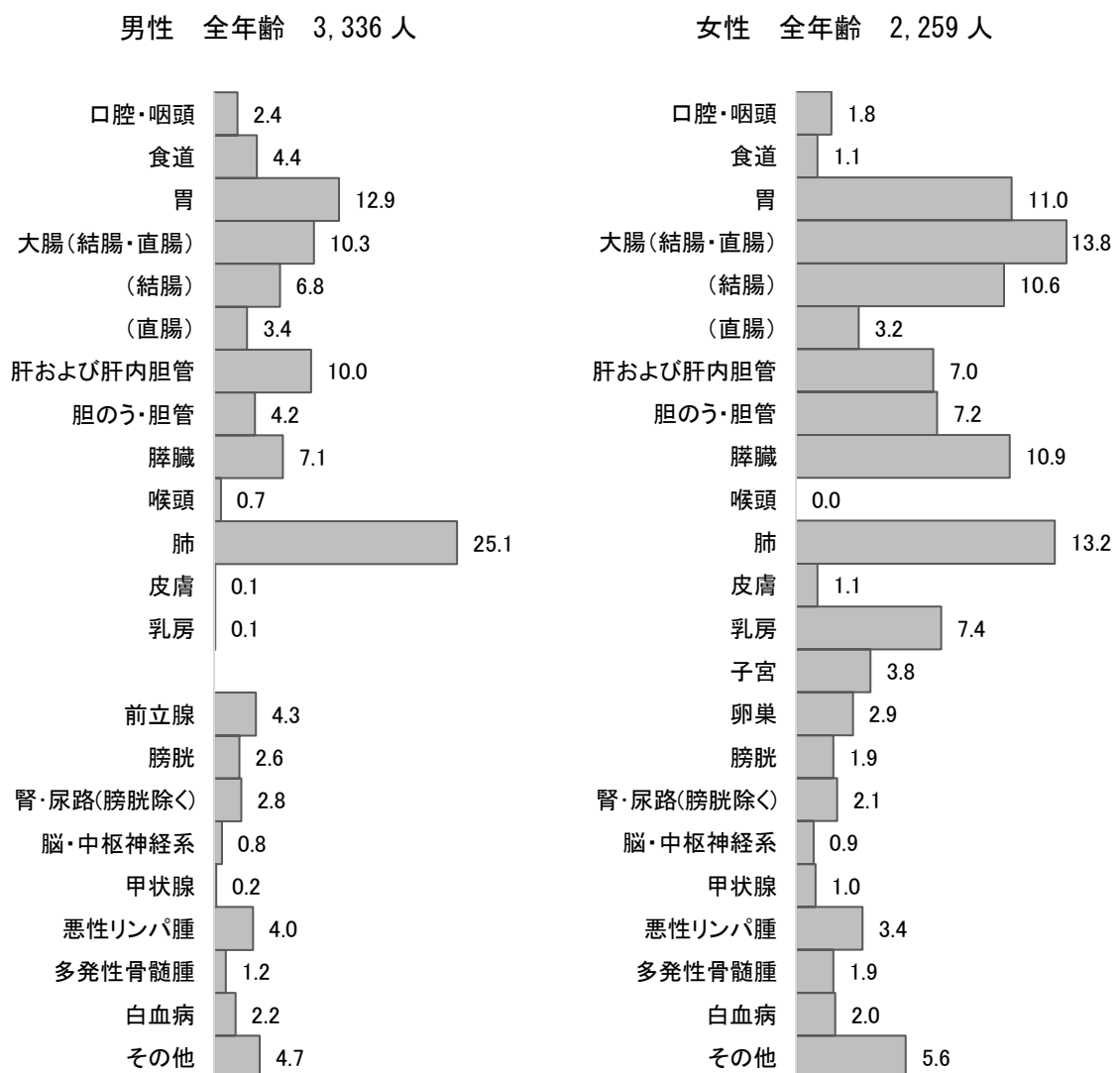
## 4 死亡の状況

### (1) 死亡の概要

岡山県において、がんを原因として死亡した者の数は、男性 3,336 人、女性 2,259 人、合計 5,595 人であった。

部位別では、男性は肺（837 人、25.1%（全部位に占める割合、以下同じ））が最も多く、次いで胃（429 人、12.9%）、大腸（342 人、10.3%）の順となっている。また、女性では大腸（311 人、13.8%）が最も多く、次いで肺（298 人、13.2%）、胃（249 人、11.0%）の順となっている。【図 16】

図 16 部位内訳（%）（表 9 から作成）

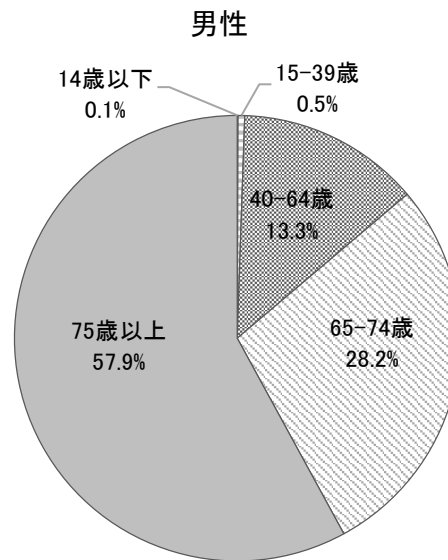


## (2) 年齢別に見たがんの死亡

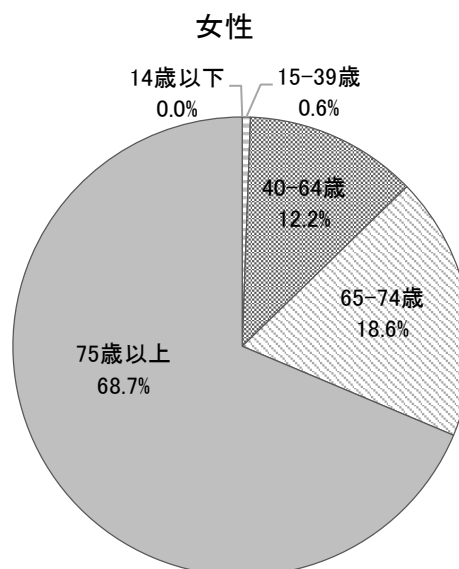
がんによる死亡について年齢階級別内訳をみると、男性では全体の約 86%、女性では全体の約 87%が 65 歳以上である。【図 17】

図 17 年齢階級別内訳 (%) (表 10 から作成)

年齢階級	男性 (人)
14 歳以下	2
15-39 歳	16
40-64 歳	443
65-74 歳	942
75 歳以上	1, 933
総数	3, 336

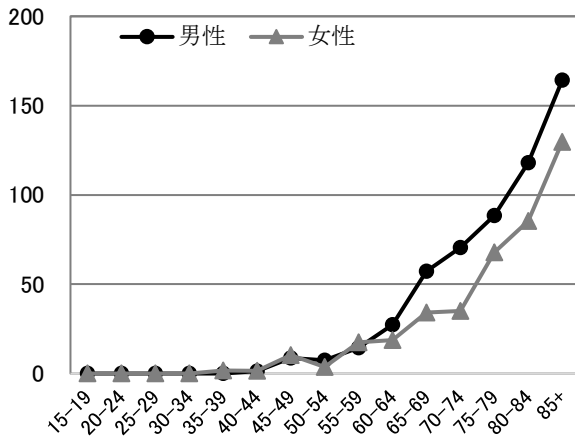


年齢階級	女性 (人)
14 歳以下	0
15-39 歳	13
40-64 歳	275
65-74 歳	420
75 歳以上	1, 551
総数	2, 259

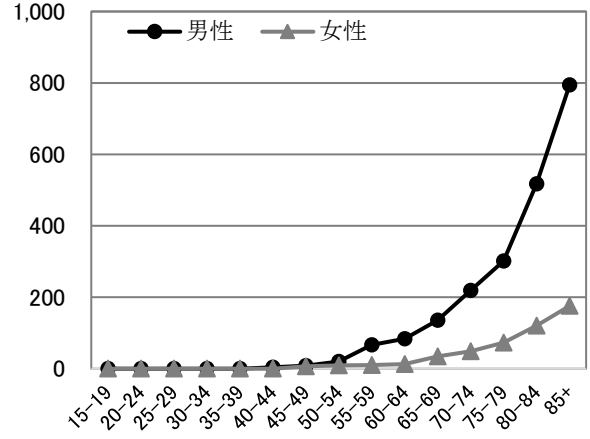




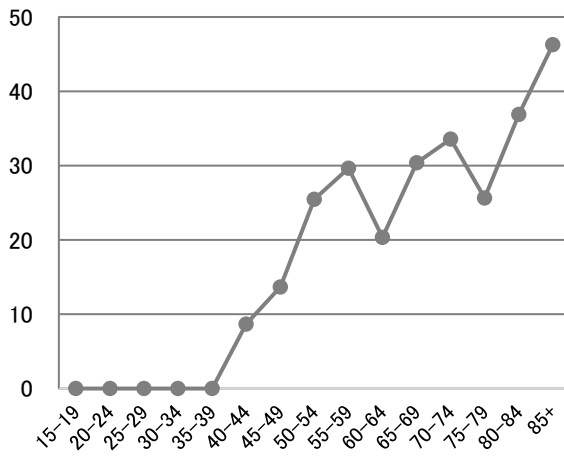
膵臓



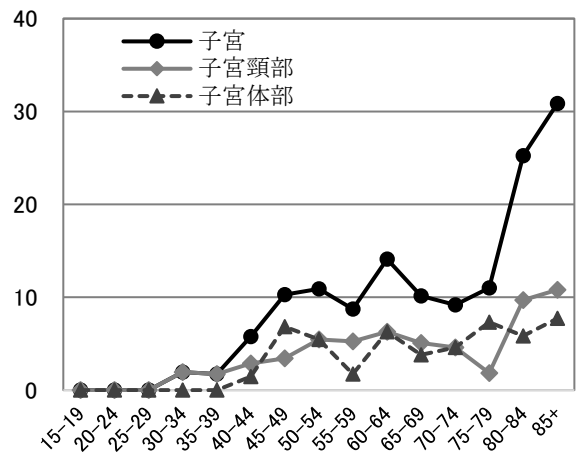
肺



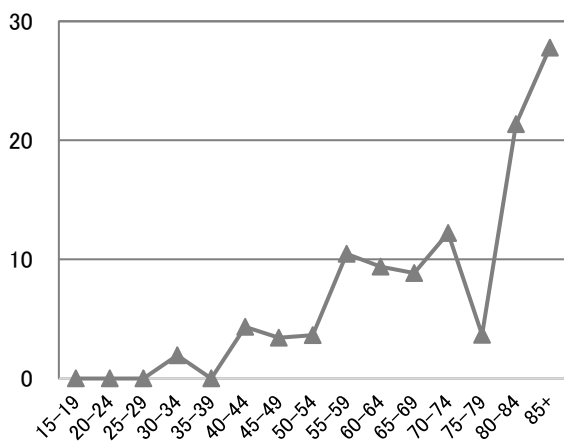
乳房 (女性のみ)



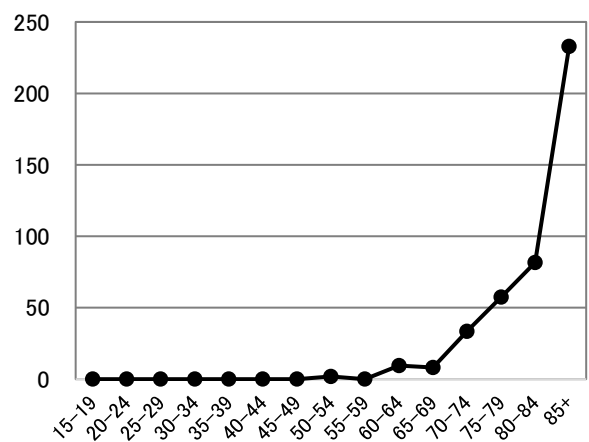
子宮



卵巣



前立腺



### (3) 岡山県のがんの死亡の特徴

部位別の粗死亡率と年齢調整死亡率について、厚生労働省の「人口動態統計」による全国値との比較を示した。

年齢調整死亡率で見ると、ほとんどの部位において岡山県は全国値を下回っている。【図 19・20】

図 19 部位別粗死亡率：人口 10 万対（表 9、人口動態統計から作成）

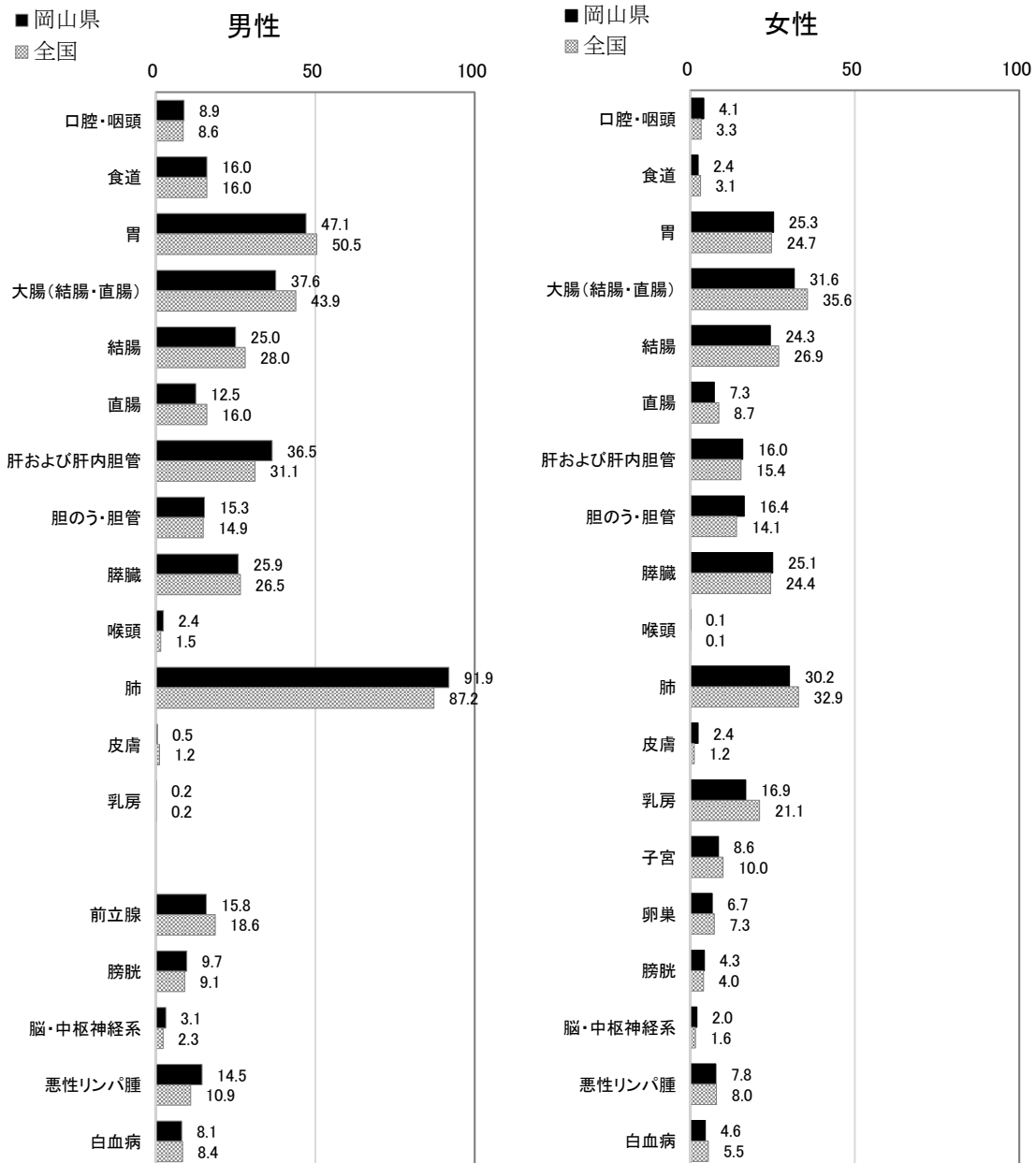


図 20 部位別年齢調整死亡率：人口 10 万対（表 9、人口動態統計から作成）

